

第二回笠松町議会臨時会開会

議長 船橋義明氏
副議長 山田 穆氏

四月一日（金）第二回臨時会が開会され、次の案件が原案のとおり可決されました。
笠松町職員定数条例の一部を改正する条例について
行財政改革推進プランのもとに、定員適正化を図るため、職員定数を改定するもの。

定数総数（兼務を除く。）
一八四人 一六七人
（十七人削減）
なお、同日議長・副議長の選挙、議会運営委員会委員の選任などが次のとおり行われました。

選挙および選任等（敬称略）
議長 船橋義明
副議長 山田 穆
【総務文教常任委員会】
委員長 伊藤 功
副委員長 太田俊彦
【議会運営委員会】
委員 安田敏雄

就任のあいさつ 議長 船橋義明



この度、議員の皆様のご推挙により、町議会議長の重責を担うことになりました。誠に身に余る光栄と存じ感激するとともに、その責務の重大さを痛感いたしました。お礼申し上げます。

深刻な経済情勢、急速な少子高齢化の進展や住民ニーズの多

様化などを背景に、国においては財政構造改革が進められ、地方においても歩んできた道を再点検し、行政環境の変化に迅速かつ柔軟に対応でき、地方分権時代に即した新しい行財政システムへの再構築が求められています。

しかし、笠松町を取り巻く環境は、長引く景気の低迷や人口の伸び悩み、高齢化の進行などにより、依然として厳しい財政状況にあります。こうしたなかで、住民が主役であるまちづくりを進めていくためには、自主的に運営できる財政体質を確立することが必要であり、財政の健全化に向けた取り組みを徹底して行い、持続可能な財政体質を実現するため、行財政改

革推進プランが策定されました。この改革を着実に実行するためには、皆様がたのご理解とご協力なくしてはできません。

このうちは、微力ではありませんが「和を以て貴しと為す」の信条のもとに、議会に与えられた権限、権能を十分に発揮し、公平にしてかつ公正に、信義に満ちた議会運営に心がけ、町執行部と一丸となり、住民協働による安全で安心して暮らしていけるまちづくりを目指して誠心誠意、努力いたす所存であります。

皆様がたの一層のご指導、ご支援を表心よりお願い申し上げます。私のあいさつといたします。

花フェスタ2005ぎふ

笠松町の日開催

3月29日（火）可児市の花フェスタ記念公園・雅ホールで、笠松町・岐南町の日が開催され「ふれあいフェスタ」と題してステージでは笠松清流太鼓の豪快な演奏が響き渡り、多くの来場者を魅了しました。午後からは、歌フェスタが開催され、歌に自信のある三人のかたが花をモチーフとした曲目の歌声を披露し、応援者などから声援が上がっていました。

また、会場では、笠松菓子組合の皆さんにより笠松の銘菓が好評のなか販売されました。



笠松清流太鼓の豪快な演奏

この事業は岐阜県市町村振興補助金を受けて実施しました。



蜷多くの人に好評だった笠松銘菓